

サシバ (学名: *Butastur indicus*)

[タカ目 タカ科]



▲電線にとまるサシバ

この時期、山間から「ピックイー ピックイー」と明瞭な鳴き声が聞こえてきます。この声の主は、サシバです。サシバは、只見町では夏鳥で、4月に東南アジアやインドネシアから渡って来て、繁殖をし、8月下旬にはまた南へと渡っていきます。毎年、同じ個体がだいたい同じ場所に戻ってくることが知られています。鳴き声は、渡来直後の4月頃にもよく聞こえますが、ヒナが巣立ち渡りの前の7月下旬から8月にかけてもよく聞くことができます。

サシバは、カラスと同じかひとまわり小さいくらいの鳥ですが、トカゲやカエル、ネズミなど小動物を捕食する猛禽類の1種です。採食場所となる水田や耕地などの開けた環境と山麓との境目付近を好み、営巣することが知られています。他の猛禽類との識別特徴は、基部が黄色く先が黒いくちばし、頭部から上面にかけて灰褐色の羽色、胸の褐色の横縞、そして大きさです。飛翔時は、下面が白っぽく見え、白いのどに黒の縦線が入っているのがよく見えます。

只見町ではよく見かける鳥ですが、環境省レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類に指定されており、福島県でも準絶滅危惧種となっています。これは、サシバが好むような里山環境が全国的に減少していることによります。

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

企画展示

只見ユネスコエコパーク関連事業・只見自然環境基礎調査報告
「只見の湿原—その生態と歴史」

期 間：7月29日(土)～11月20日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー